

地域包括支援センター坂下通信

認知症の人が住んでいる世界を理解するシリーズ⑦

認知症の人の中には、ひとつのことが頭から離れなくなるということが、しばしばあります。周囲が説得や否定をすればするほど、よけいこだわりから抜けられなくなりやすいようです。

こだわりの現れ方や対象は様々です。

例えば、新聞や紙類を何でもビニール袋に入れる、座布団をたくさん並べる等一見するとおかしい行為も「仕事で使う書類を整理しているつもり」「お客さんがくると思い込んでいる」など本人なりの理由がある場合もあります。このような事は、本人にも周囲にも危険や害はないので、そのままにしておきます。

「そんな訳ないでしょ」など否定したり、勝手に片づけたりするのは逆効果です。


しかし、そのままにしておけない、家族や近隣にとって困ってしまうような行動になってしまうこともあるでしょう。

例えば、自分の貯金が「嫁に勝手に使いこまれている」と思い込み家族を執拗に責める、隣の家の人に「嫌がらせをされている」と思い込み、怒ってしまったり、警察に電話をしてしまうなどです。

こうなってくると家族だけで対応するのは、困難でしょう。第三者の協力を得て、本人が納得できるように働きかける、地域の理解と協力を得る、などが必要になってくるかもしれません。

具体的には、通帳を本人が信用している別に住んでいる家族が預かる、銀行にあらかじめ事情を話したうえで一緒に行き、お金が引き出されていないことを銀行員から説明していただくなどで、本人が納得できることもあります。

近隣とのトラブルになりそうな時は、あらかじめ事情を説明し、謝罪した上で協力を求めることも大切です。また、そのような話題になりそうになったら「テレビを見ましょう」と少しだけ先手を打つ、「ちょっと洗濯たたみを手伝って下さると助かるわ」等、さりげなく関心を別の方向に向けるといことも有効です。

 地域包括支援センター坂下

春日井市神屋町1306-1

☎：93-1314

開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：戸田、木根、飯田、永杉、辻本

地元のお元気さん



このコーナーでは、毎回地域で活動している団体やグループ、介護予防に取り組んでいる方などをご紹介します。

しょうらいかい

ネオポリス松籟会

今月は、毎月第1月曜日にネオポリスの集会所で行われている俳句の会について紹介をします。

この会は、ネオポリス高年会のクラブ活動として行われており、今年で9年目です。メンバーは16名、メンバーの平均年齢は82歳です。

メンバーは毎月4句、内1句は「今月のお題」（4月は桜）に沿った句を作り、出します。

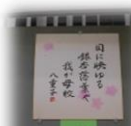
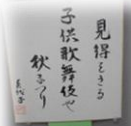
あらかじめ取りまとめて、互いに選句をし、句会では96歳の梅村半醒先生の講評やご指導と、メンバー同士の意見の交換がされていきます。

基本的には、当季雑詠（今の季節の事象であれば何を詠んでも構わない）というスタイルで、3月の会でも「よく光景がでていますね」「とてもいいですよ」「ここをこうするともっとすわりがよくなるかな」等先生の的確かつ和やかな助言のもと、自由に意見を出し合い楽しんでおられました。

ネオポリスの住民で60歳以上の方なら、どなたでも高年会に入っただけです。
ぜひ、一緒に俳句を楽しみませんか？



東濃信用金庫坂下支店で、展示されました



地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

